

Shinsaibashi Reform Magazine

vol.6

Profile of an artisan 職人の横顔

Profile
of
an artisan



心齋橋リフォームの美しい仕上がりは
多くの職人たちの腕から生まれる。
店頭ではお目にかかれない職人の横顔に迫る !!



次世代を担う職人は 笑顔が似合う今どきのレイディ

上田 早織 さん_Saori Ueda

山口県出身・大阪市在中 24歳 A型 しし座

キャリア：0.5年

担当：パンツ中心

勤務：グランフロント大阪店

Q 以前は婦人服の大手縫製工場に勤務していたとか。

上田_短大卒業後、そこで3年半働かせていただきました。



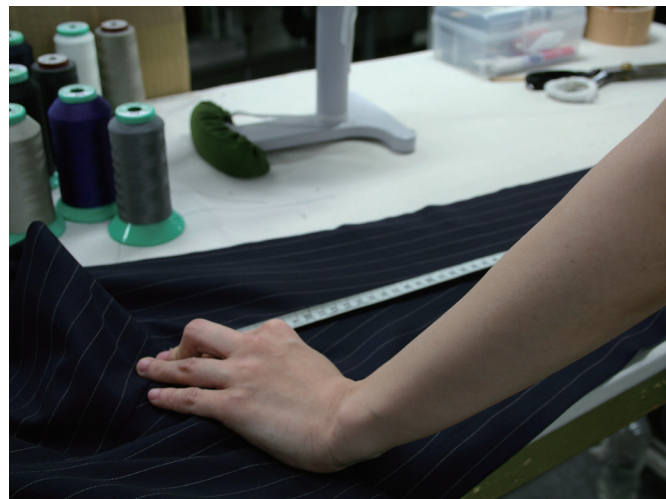
Q 小耳に挟んだ情報では厳しくて有名な伝説の工場だったらしいですね。でも、そこから巣立った方は優秀な人材が多いとか。

上田_仕事に対して厳しかったのは言うまでもありませんが、全寮制でしたからお休みの日などの門限がかなり微妙な感じでしたね。(笑)

Q 同じ縫製仕事でも直しは随分難しいと伺いますが。

上田_そうですね。求人が出ていたのは知っていましたので、ずっと興味を持っていました。実際仕事に就いてみると服を縫うよりずっと難しいですが、楽しさもケタ違いですね。というのもリフォームするうえでは一度服を分解することが珍しくありません。すると隠された部分かどのような仕様になっているのかを見ることにはなりますが、それがとても興

味深いのです。また毎日色々なデザインの服が送られてきますからそれを見るだけでもワクワクしますね。



Q なるほど。でも仕事は早くて素晴らしいそうですね。

上田_いえ。単純な作業を黙々と続けることが好きなのです。そうして少しずつ積み重ねて終着へ向かって努力してゆくのがある種の醍醐味だと思っています。

Q 心斎橋リフォームへ転職されて何か変わりましたか。

上田_以前は一日中、ミシンの前に座っていましたから、人と接すること、お客様とコミュニケーションがとれるようになったのが何よりではないかと思います。今後はもっともっと出来る事を増やして行きたいと思いますし、それが一生続けたいと思う意味に繋がるのかもしれない。



Profile
of
an artisan

まだまだお若いのに最近の女性らしく
芯がシッカリしていて好感が持てますね。
とはいえ、笑顔は可愛いくて現代的な一面も
覗かせます。

またこの機会に職人になりたい!! と思われ
る方はお気軽にリクルートの欄にお気軽
にお問い合わせください。